

料金後納
郵便

BANDO DOING MORE on the new frontier

株主の皆様へ **バンドー化学株式会社**

平成22年3月期 第1四半期（連結）

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
☎0120-094-777（通話料無料）

返送先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

まずこちらを

開く 濡れている場合は乾かしてから
はがしてください

■ 配当状況

| | 1株当たり配当金（円） | | | | | 配当金総額 （年間） （百万円） | 配当性向 （連結） （%） | 純資産 配当率 （連結） （%） |
|---------|-------------|------|------------|------|-------|------------------------|---------------------|---------------------------|
| | 第1 四半期末 | 中間期末 | 第3 四半期末 | 期末 | 年間 | | | |
| 2010年3月 | - | 未定 | - | 未定 | 未定 | / | - | / |
| 2009年3月 | - | 5.00 | - | 2.00 | 7.00 | 702 | - | 1.7 |
| 2008年3月 | - | 5.00 | - | 5.00 | 10.00 | 1,003 | 19.0 | 2.3 |

2010年3月期につきましては、現時点では未定とさせていただきますが、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

■ 会社概要

社名 バンドー化学株式会社
Bando Chemical Industries, Ltd.
創業 1906年（明治39年）4月14日
設立 1937年（昭和12年）1月7日
本店 神戸市兵庫区明和通3丁目2番15号
本社事務所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
TEL（078）304-2923
従業員数 1,330名（平成21年3月31日現在）
ホームページアドレス <http://www.bando.co.jp>

■ 事業所

東京支店、名古屋支店、大阪支店
加古川工場、南海工場（大阪府泉南市）、和歌山工場、神戸工場、足利工場
生産技術センター（神戸市）、R&Dセンター（神戸市）、伝動技術研究所（和歌山県）

BANDO

<http://www.bando.co.jp>

■ 株主メモ

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 TEL（通話料無料）0120-094-777 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞・神戸新聞 |
| 上場取引所 | 東京（第1部）・大阪（第1部） |

〈ご注意〉

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本データの記載内容は、平成22年3月期第1四半期決算短信に基づき作成しております。
なお、その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報については、本データの記載内容には反映されません。



バンドー化学はチーム・マイナス6%に参加しています

株主の皆様へ

2009年8月
バンドー化学株式会社

平成22年3月期第1四半期（連結）の概況をお届けいたします。

当第1四半期については、昨年の金融危機に端を発した世界的な不況による輸出の大幅な落ち込みなどにより、前第4四半期に引き続き、非常に厳しい状況で推移しました。中でも、自動車産業に代表される製造業の大幅減産は、在庫調整が一巡し、生産の持ち直しは、弱いながらも徐々に見えはじめてきましたが、今後も予断を許さない状況が続くものと思われまます。このような厳しい状況に対応するため、全社を挙げて「Bando Recovery Plan-'09」プロジェクトを発足し、総原価の低減や販売拡大活動を実施するなど、一丸となって収益改善に取り組んでおります。

こうした中、当社グループの第1四半期（連結）の業績は、誠に遺憾ながら、次頁（右記）以降のとおり、前年同期比では大幅な減収減益となりましたが、前第4四半期に比べれば、利益面での改善傾向も徐々に見えはじめております。これに伴い、通期の当期純利益に係る業績の見直しにつきましては、当初の150百万円の純損失から100百万円の純利益に修正させていただきました。

今後も、収益改善を強力に進めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
小林 敏夫



代表取締役社長
原 和義

平成22年3月期第1四半期（連結）の概況

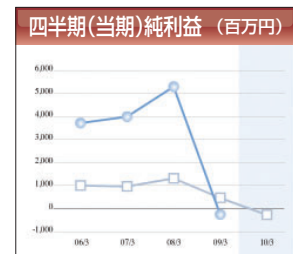
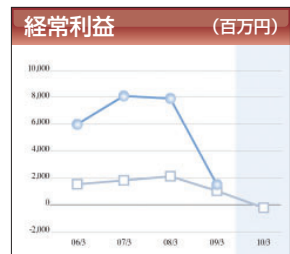
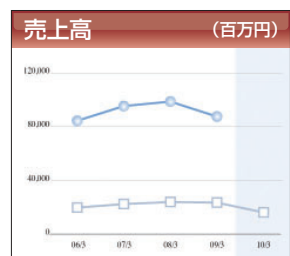
（詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」掲載の「平成22年3月期第1四半期決算短信」をご覧ください。）

■ 経営成績



郵便はがき

通期 第1四半期



■ 事業のセグメント別売上高の状況



【ベルト・工業用品事業】
すべての分野で大幅に減少する中、「省エネと環境」に配慮した省エネレッドは、前年同期並みの販売を確保。



【化成品事業】
景気低迷により、裝飾表示用製品、工業用フィルムの販売が大幅に減少。



【その他事業】
国内子会社における機械設備の販売が大幅に減少。

■ 平成22年3月期（通期）の連結の業績予想

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

平成21年5月15日に公表した第2四半期累計会計期間（連結・単体）および通期（連結・単体）の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、当社ホームページ掲載の平成21年8月4日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(%表示は対前期増減率)

| | 5月15日発表数値 | 8月4日発表数値 |
|------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 売上高 | 70,000百万円 Δ 20.0% | 70,000百万円 Δ 20.0% |
| 営業利益 | 1,000百万円 Δ 52.7% | 1,100百万円 Δ 48.0% |
| 経常利益 | 450百万円 Δ 70.1% | 800百万円 Δ 46.9% |
| 当期純利益 | Δ 150百万円 $-$ | 100百万円 $-$ |
| 1株当たり当期純利益 | Δ 1円50銭 | 1円00銭 |

実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。